

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	地域おこし協力隊
氏名	高久博子
着任日	令和2年2月1日

活動月	令和2年8月（着任：7ヶ月）
主な活動	1. Facebook用写真撮影・記事作成・投稿 2. 茶工場・地域訪問 3. ホームページ更新作業

1. Facebook用写真撮影・記事作成・投稿

今月は、先月同様茶園作業ではなく、夏休みの時期でもあったので茶園風景動画の投稿を行った。また、現在未完成状態だが、Facebook（YouTube）用に茶業課職員による「お茶の淹れ方」動画を撮影した。これまでの風景動画であれば、編集することはなかったが、10分以上の動画で、編集作業が必要となり、まだ投稿できていない。今後、茶業関係者のより詳細な動きを伝えられるように動画の編集についても学んでいきたい。

コロナウイルス感染症拡大の影響により、11月に開催予定であった「第74回全国お茶まつり鹿児島大会 in 南九州市」も中止になるなど、日本一の茶産地をPRする場が限られている状況であるが、情報発信だけは頻繁に行っていきたい。



2. 茶工場・地域訪問

ホームページ掲載のため、はじめてお茶の生産組合（菊永茶生産組合）の組合長である菊永明彦氏にお話を伺い、茶園・茶工場の見学をさせていただいた。これまで茶工場だけを拝見したことはあったが、歴史も含めてお話を伺ったことはなかった。

インタビューの時間は、もっとお聞きしたいと思うほど、あっという間に過ぎ、よい質問がなかなかできなかったにもかかわらず、大変丁寧にお話いただいた。記事は、少しでも多くの方に、知覧茶に関わる方それぞれの特徴を知っていただきたいと思うので、伝えたいことは山ほどあるが、しっかりと要点をまとめてお伝えしていきたい。南九州市の方は記事の内容でご存じの部分も多いとは思いますが、県外や海外の方への記事として、今後ホームページで皆さんにお読みいただければ幸いです。

地域おこし協力隊活動報告書

また、今月は南九州市地域おこし協力隊のアドバイザーである加藤潤氏のご紹介で、たけ茶園の上村ご夫妻、頼娃でゲストハウス「暮らしの宿 福のや、」を運営されている福澤知香さんにお会いしてお話を伺った。上村ご夫妻は、2年ほど前まで茶寿会という活動をされて、加藤アドバイザーとともに、大野岳に茶寿階段を完成させ、茶園訪問のツアーのプロジェクトをされていたと伺った。メディアにも注目され、好評だったそうだが、受け入れ態勢を整えることが難しくなり、現在活動は終了しているとのことだった。

また福澤さんは、以前関西等の旅行会社でお仕事をされていて、現在ご家族は農業をされているが、ご自分は頼娃でゲストハウスや、JR 西頼娃駅の職員としてお仕事をされている。上村さんが茶園ツアーのときに使用していた空家で、カフェとゲストハウスを経営する準備もされていると伺った。魅力的な方々にお会いし、地域を活性化する力を感じるとともに、事業を継続して行くことの難しさも実感した。



3. ホームページ更新作業

今月はじめ、また海外からのお茶の注文があり、発送作業を行った。最近では、2か所のJAさんの商品が偏ることなく、注文が続いている。また引き続きホームページの最新情報、その他茶業者情報の更新を行っている。ホームページの作業は他の活動より、一番後回しになってしまうことが多く、一番反省していることだが、なんとか来月には実際に、画面の更新を行っていきたい。

知覧茶ホームページ : <https://www.chirantea.com>